

第13回 さがの映像祭

手話は言語～デフムービーって何だろう～

2017.1/28[土]13:00～18:00 (12:30開場)

1/29[日]10:00～16:00 (9:30開場)

かんばいかん

同志社大学寒梅館ハーディーホール

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103<京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車②番出口より北へ60m程>

自転車日本縦断ロードムービー

Start Line

スタートライン

耳、聞こえませんか。コミュニケーション、苦手で、そんな私の

沖縄→北海道 57日間自転車旅

「聴覚とエンピツ」
「銀け構 きこえなかった3.11」
今村彩子 監督
ドキュメンタリー映画最新作

監督・撮影・編集・音響 今村 彩子 撮影・演出 野宮 俊博 監修 山田 浩一 編集補助 小池 英志 音楽 ヤシタニ マチ子
音楽制作 野宮 俊博 音楽 渡辺 弘史 収録機材 野宮 リンダ 制作 監製 Studio AYA
2016年 09月 11日 90分 日本映画 邦画 / フェスティバル 10 Studio AYA

1/28[土]上映

14:40～16:35

ワークショップ①

16:45～18:00 会議室

今村彩子 監督

「本当の『壁』は誰が作っているのだろう？」

～『Start Line』制作を通して考えたこと～



劇団あしたの会

昨日・今日・明日

映像と演劇の
コラボレーション

1/28[土]上演

16:50～18:00

チケット(自由席)

※前売りチケットあり。当日会場でも受付いたします。

一般:2日券 1,500円 1日券 1,000円

学生:2日券 1,000円 1日券 700円 (小学生～大学・専門学校生)

ハーディーホール配備

手話通訳

PC要約筆記

ワークショップ申込方法

1ワークショップ番号(①または②)、2名前、3連絡先、4聴覚障害者・健聴者人数を事務局(裏面)までお知らせください。申込締切:2017年1月13日(金)※研修センター公式サイトよりインターネット申込み可。※定員に余裕がある場合は当日受付もいたします。※ワークショップ参加は無料ですが入場には映像祭チケットが必要です。

主催 同志社大学ソーシャル・ウェルネス研究センター 第13回さがの映像祭実行委員会

協賛 社会福祉法人全国手話研修センター 認定NPO法人CS障害者放送統一機構

特別協賛 公益財団法人京遊連社会福祉基金

後援 一般財団法人全日本ろうあ連盟 京都市



第13回映像作品コンクール
応募作品上映

1/28[土]13:00～14:30 Aグループ

1/29[日]10:00～12:00 Bグループ



※画像は2015年度
第12回応募作品

映画を創る映画祭「函館港イルミネーション映画祭」発
シナリオ大賞映画化プロジェクト

函館珈琲

HAKODATE Coffee

珈琲の香りに誘われて、
函館に短い夏がやって来る。
ぼくの心は何を探しているんだろう…

©HAKODATEproject2016

1/29[日]上映

13:00～15:00

ゲスト

いとう菜のは氏

「函館珈琲」脚本制作



ワークショップ②

1/29(日)11:00～12:30(予定) 会議室

「ろう映画(デフムービー)

関連ワークショップ(仮題)」

※詳細は公式サイトに掲載します

第13回さかの映像祭

2017.1/28[土]~29[日]

司会:山本真記子(目で聴くテレビ手話キャスター)

手話や映像関係の
販売・展示も募集中



第13回映像作品コンクール

応募作品上映

ハーディーホール

1/28 [土] 13:00~14:30 Aグループ

1/29 [日] 10:00~12:00 Bグループ

※クローバーホールでも上映 ※上映作品は公式サイト掲載予定

審査発表・表彰式・審査員講評 1/29[日]15:10~

【審査員】(50音順)

- 池田 和生 (元KBS京都放送ディレクター)
- 井上 泰治 (映画監督。主な作品に「水戸黄門」ほか)
- 今村 彩子 (映画監督。Studio AYA 代表)
- 大館 信広 (映画監督。デフムービーエンターテインメントプロディア代表)
- 金山 智子 (岐阜県立情報科学芸術大学院大学教授)
- 高田 英一 (特定非営利活動法人CS障害者放送統一機構理事長)
- 津田 正夫 (元立命館大学教授、元NHKチーフプロデューサー)
- 早瀬 憲太郎 (映画「ゆずり葉」「生命のことづけ」監督)
- 横地 由起子 (京都シネマ支配人)

会場特別賞

作品投票を
しよう!

自転車日本縦断ロードムービー スタートライン

Start Line

1/28(土)14:40~上映

生まれつき耳の間こえない映画監督が、自転車で沖縄→北海道日本縦断の旅へ。コミュニケーションの壁にへこみ、涙しながらも走り続ける 57日間の記録。伴走カメラマン 哲さんの叱咤激励、聴力を失った旅人ウィルとの出会い…ニッポン中のためらう人に観てほしい、一篇の勇気のおすそわけ。

(2016/112分)



今村彩子監督ワークショップ
○映画上映終了後 16:45~
○地下A会議室にて

いまむらあやこ:愛知県出身。映画監督で大学非常勤講師。自主上映や講演活動を精力的にこなしている。

劇団あしたの会 昨日・今日・明日



©劇団あしたの会

1/28(土)16:50~上演

出演 蒲原敏光 志水陽一 一文字鷹 高井恵美

時代は2030年、手話言語法制定から10数年後。2人のろう者が、手話言語法ができてからの変化について話していると「歴史じいさん」と名乗る老人がやってきて、ろう者が苦しみ戦った過去のことについて話し出す……。

函館珈琲 1/29(日)13:00~上映

HAKODATE Coffee



©HAKODATEproject2016

主演
黄川田将也
監督
西尾孔志

脚本 (函館港イルミナシオン映画祭 2013年度函館市長賞)
いとう菜のは

函館の街にひっそりと佇む古い西洋風アパート翡翠館。装飾ガラス職人を目指す堀池一子。ティンバーアートアーティスト相澤幸太郎。ピンホールカメラ専門の写真家藤村佐和。夏のある日、やってきた松山英二。翡翠館に集う若者たちの出会いと葛藤を描き出す。(2016/90分) [日本語字幕上映(別画面)]

会場

同志社大学 寒梅館 ハーディーホール (寒梅館地下1階)

京都市上京区烏丸通上立売下ル御所八幡町103

- 京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車
②番出口より北へ60m程。
- 駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。



※当日の催し等は変更になる場合があります

※全国手話研修センター公式サイトにも詳細を掲載いたします

<http://www.com-sagano.com/>(QRコード下記)

映像祭に関するお問い合わせ先

第13回さかの映像祭実行委員会 事務局
(社会福祉法人 全国手話研修センター 企画課)
〒616-8372 京都市右京区嵯峨天龍寺広道町3-4
FAX 075-873-2647 TEL 075-873-2646
Email kikaku@com-sagano.com



ワークショップ申込書(FAX 075-873-2647)※ワークショップ参加は無料ですが、入場には映像祭チケットが必要です。

1. 申込希望ワークショップ ※○をつけてください(複数申込可)

() 1/28 今村彩子監督ワークショップ () 1/29 ろう映画関連ワークショップ(仮題)

2. お名前(聴覚障害の有無)

3. 連絡先(FAX・TEL・Emailなど)

_____ (聴覚障害者・健聴者)

_____ (聴覚障害者・健聴者)

_____ (聴覚障害者・健聴者)

【備考】